

施策を構成する事業評価

No.	12	担当課	福祉課
-----	----	-----	-----

1. 施策名

基本目標	2	健康で元気に暮らせるまち【保健・福祉・医療・社会教育】
政策名	3	地域のなかで、互いに支え合うまちづくり
施策名	1	地域における市民の福祉活動を支援します

2. 重点事業

事業名(中分類)	なし										予算事業番号 (予算事業名)		
事業指標	現状値 H27	実績値										目標値 R7	達成 状況(%)
		H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
事業概要													
取組内容・結果等(D)													
課題・問題点等(C)													
今後の方向性(A)													

3. 基本事業

事業名(中分類)	地域福祉の普及・啓発事業	予算事業番号 (予算事業名)	3. 1. 4. 103037(ブラザげやき管理費) 3. 1. 4. 103038(ブラザげやき施設整備事業費) 3. 1. 4. 103800(公用車管理費) 3. 1. 5. 103039(協和会館運営費)
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラザげやき及び公用車の管理を行う。 ・地域福祉を推進するための第3次地域福祉計画の進捗管理を行う。 ・人権啓発事業として協和会館の管理・運営を行う。 ・成年後見制度の利用促進と体制整備のため、掛川市・御前崎市との広域連携により市民後見人の養成を行う。 		
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラザげやきの修繕、会議室の貸し出しを行った。 ・公用車の点検・修理を行ない、安全な運行に努めた。 ・公用車1台を更新した。 ・地域福祉計画推進委員会を開催し、第3次地域福祉計画の進捗状況の報告を行った。 ・協和会館で絵手紙教室、料理教室等の講座を開催し、周辺地域の住民との交流をはかった。 ・市民後見人の養成講座は、第1期生の実務研修を行い11人が修了しました。第2期の養成講座には6人の応募があり、基礎研修を実施しました。 		
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> ・第3次地域福祉計画の計画期間が令和2年度で終了するため、第4次計画を策定する必要がある。 ・ブラザげやき、協和会館の円滑な管理運営に努める必要がある。 ・ブラザげやき南館の解体を円滑に進める必要がある。 ・協和会館について、公共施設個別施設計画で「長寿命化」の方針が示された。 		
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉計画推進委員会を開催し、計画の見直しを行う。 ・ブラザげやき、協和会館の修繕を実施し円滑に利用できるようにする。 ・ブラザげやき南館解体に向けて、準備を進める。 ・協和会館の長寿命化の方針について検討を進める。 		

事業名(中分類)	避難行動要支援者の避難支援対策推進事業	予算事業番号 (予算事業名)	3. 1. 1. 103850(社会福祉総務費)
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に支援が必要となる避難行動要支援者の状況を把握し、避難行動要支援者名簿を作成する。 ・状況把握については、民生委員の高齢者訪問に合わせて実施する。 		
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> ・5月～8月に民生委員による対象者の戸別訪問を行い、要支援者の実態把握を行った。 ・訪問結果を基に避難行動要支援者名簿を作成し、自主防災会、民生委員、警察署へ配布した。 ・要支援者個別支援計画の作成について民生協理事会で検討し、高齢者訪問リストを作成することとなった。 ・発災時の民生児童委員の役割について検討会を開催し、役割を明確にした。 ・要支援者システムの更新を行った。 		
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> ・要支援者個別支援計画について、記載する事項について更に検討が必要である。 ・要支援者名簿の配布について、避難所への配布を検討する必要がある。 		
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> ・要支援者個別支援計画の詳細策定について民生委員と協議を行い、計画内容を決めていく。 ・避難行動要支援者名簿の避難所への配布について関係課と協議をする。 		

事業管理シート(施策)

基本目標	2	健康で元気に暮らせるまち【保健・福祉・医療・社会教育】
政策名	3	地域のなかで、互いに支え合うまちづくり
施策名	1	地域における市民の福祉活動を支援します

事業名(中分類)	地域福祉活動団体等への支援事業	予算事業番号 (予算事業名)	3.1.1.103002(戦没者慰霊費) 3.1.1.103850(社会福祉総務費)
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉の健全な経営のため、社会福祉法人に対する指導監査を実施する。 ・戦没者に係る支援事業を行う。 ・日本赤十字社菊川支部及び赤十字奉仕団菊川支部への支援を行う。 		
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> ・市内3件の社会福祉法人に対して指導監査を行い、必要に応じて指導を行った。 ・戦没者に対する哀悼の念を表すため、8月15日の全国戦没者追悼式に合わせて追悼事業を実施した。また戦没者に対する慰霊祭事業を遺族会、社会福祉協議会と共に実施し、平和への思いを新たにした。 ・慰霊祭のあり方について検討を行った。 ・日本赤十字社菊川支部及び赤十字奉仕団菊川支部の事務局として活動を支援した。 		
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な監査を行うために、社会福祉法人の運営に関する知識の習得が必要である。 ・追悼事業に若者の参加がなく戦争の悲惨さや平和の大切さが次世代に継承されていない。 ・舟岡山招魂社の樹木が茂っており、適切な管理が必要。 		
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人の運営に関する改正点についての知識を習得し、適正な監査が実施できるようにするため、各種研修会に参加する。 ・追悼事業について引き続き遺族会と実施内容を検討していく。 ・舟岡山招魂社の良好な環境を維持するため、樹木剪定を行う。 		

事業名(中分類)	プレミアム付商品券事業	予算事業番号 (予算事業名)	3.1.1.103091(プレミアム付商品券事業費)
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・補助率100%の国庫補助事業。 ・消費税の引き上げによる家計の負担緩和や地域の消費下支えのため、住民税非課税世帯、子育て世帯を対象としたプレミアム付商品券を発行する。 ・5,000円分の商品券を4,000円で、最大5回まで購入可能。 ・購入費当たっては、購入引換券の交付申請を行い、交付された購入引換券を持参して郵便局でプレミアム付商品券を購入する。 ・住民税非課税世帯のみ申請が必要であり、子育て世帯には直接引換券を送付した。 		
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> ・プレミアム付商品券対象者(住民税非課税世帯分5,852人のうち2,343人が引換券の交付申請を行った。申請率は40%だった。(県平均は36%) ・令和元年10月から1月末まで郵便局で商品券の販売を行った。販売冊数は13,450冊であった。 ・市内で流通した商品券は菊川市商工会において換金を行った。市内に66,804,000円分の商品券流通・使用された。 		
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> ・申請率が低調であった。 		
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度のみのものである。 		

施策を構成する事業評価

No.	12	担当課	福祉課
-----	----	-----	-----

1. 施策名

基本目標	2	健康で元気に暮らせるまち【保健・福祉・医療・社会教育】
政策名	3	地域のなかで、互いに支え合うまちづくり
施策名	2	地域福祉の担い手を育成・支援します

2. 重点事業

事業名(中分類)	なし						予算事業番号 (予算事業名)						
事業指標	現状値 H27	実績値										目標値 R7	達成 状況(%)
		H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
事業概要													
取組内容・結果等(D)													
課題・問題点等(C)													
今後の方向性(A)													

3. 基本事業

事業名(中分類)	民生委員児童委員・主任児童委員との連携						予算事業番号 (予算事業名)					3. 1. 1. 103004(民生委員活動費)	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 民生委員・児童委員及び主任児童委員の活動支援及び菊川市民生委員児童委員協議会の運営支援。 法定地区民児協(3地区)への支援。 												
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> 民生委員児童委員協議会の活動支援のため、補助金を交付した。 民生・児童委員の定例会に市の職員が出席し、意見交換や活動に必要な情報提供を行い活動を支援した。 												
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> 民生・児童委員の改選に伴い、新たに民生・児童委員の委嘱を行っており、知識の習得が必要である。 避妊行動要支援者訪問(実態把握)や福祉制度についての知識を身につけてもらう必要がある。 												
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> 新たに民生委員児童委員となった委員に対し、民生委員児童委員の役割を理解してもらうため、研修事業への参加について支援を行う。 民生児童委員相互の交流を促進するため、全体交流会を行う。 民生委員児童委員活動が円滑に行えるよう、連合自休定例会で活動内容を説明し理解を深めてもらう。 												

事業名(中分類)	社会福祉協議会との連携強化						予算事業番号 (予算事業名)					3. 1. 1. 103005(社会福祉協議会費)	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉の充実及び地域福祉の推進のため、菊川市社会福祉協議会への支援を行う。 福祉の増進のために活動する福祉団体への支援を行う。 												
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉協議会の運営が円滑に行われるよう、補助金を交付した。 社会福祉協議会が行う、結婚相談、心配ごと相談に助成を行った。 地域福祉活動を行う団体に補助金を交付し、活動を支えた。 												
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉協議会の円滑な運営が実施できた。 												
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き社会福祉協議会と連携を図りながら、事業を進めていく。 												

事業管理シート(施策)

基本目標	2	健康で元気に暮らせるまち【保健・福祉・医療・社会教育】
政策名	3	地域のなかで、互いに支え合うまちづくり
施策名	2	地域福祉の担い手を育成・支援します

事業名(中分類)	福祉ボランティアの育成	予算事業番号 (予算事業名)	3. 1. 1. 103005(社会福祉協議会費)
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・罪を犯した人の立ち直りを助ける保護司会や更生保護女性会の活動を支援する。 ・ボランティア団体の活動支援を行う。 		
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> ・東小笠地区保護司会の事務局として、会の運営を補助した。 ・保護司会の会合に職員が出席し、活動の支援を行った。 		
課題・問題点等(C)	保護司の担い手が少なく、新たな人材の育成が進んでいない。		
今後の方向性(A)	引き続き保護司会の活動を支援するとともに、役割や重要性についてPRIに努める。		

施策を構成する事業評価

No.	12	担当課	福祉課
-----	----	-----	-----

1. 施策名

基本目標	2	健康で元気に暮らせるまち【保健・福祉・医療・社会教育】
政策名	3	地域のなかで、互いに支え合うまちづくり
施策名	3	地域のなかでの自立した生活を応援します

2. 重点事業

事業名(中分類)	なし		予算事業番号 (予算事業名)										
事業指標	現状値 H27	実績値										目標値 R7	達成 状況(%)
		H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7			
事業概要													
取組内容・結果等(D)													
課題・問題点等(C)													
今後の方向性(A)													

3. 基本事業

事業名(中分類)	生活保護制度等の適正運営	予算事業番号 (予算事業名)	3.3.1.103064(生活保護費)
事業概要	・生活保護法に基づき、生活に困窮する方に対し必要に応じた扶助費の支給を行い、健康で文化的な最低限度の生活を保障する。		
取組内容・結果等(D)	・16件の生活保護の新規申請があり、内13件が保護を開始した。また、14件が廃止となり、令和2年3月31日現在で被保護者世帯は57世帯66人となった。内、救護施設に入所している者は5人となっている。 ・本年度は葬祭扶助の適用はなかった。		
課題・問題点等(C)	・本年度は不正受給による徴収金の発生はなかったが、今後も不正受給予防のため、被保護者へ報告の必要性の啓発や、報告の徹底を図っていく必要がある。 ・被保護者の高齢化が進んでいる。高齢化に伴い医療扶助費の適正な執行が必要である。		
今後の方向性(A)	・引き続き適正な生活保護費の支給に努める。		

事業名(中分類)	生活困窮者自立支援事業	予算事業番号 (予算事業名)	3.3.1.103075(生活困窮者自立支援事業費)
事業概要	・生活保護を頼らず自立した生活が送れるよう支援を行う生活困窮者自立相談支援センターの運営を、菊川市社会福祉協議会へ委託し、相談の受付や支援プランの策定などを実施し、困窮者の自立に向けた支援を行う。 ・福祉課内に就労支援員(1名)を配置し、離職による困窮者に対して就労支援を行う。 ・住宅を喪失又は喪失する恐れのある離職者に対し、住居確保給付金として賃貸住宅の家賃補助を行う。		
取組内容・結果等(D)	・生活困窮者自立相談支援センターにて、61人の新規相談を取り扱った。その内、25人が生活困窮者自立相談支援センターにて「自立支援プラン(家計支援、就労支援、住居確保給付金利用などの計画書)」の策定等、支援をすることとなり、平成30年度からの支援継続者7人と合わせて32人の支援を行った。具体的な支援として、生活困窮者自立相談支援センターでは自立に向けた面談のほか、5人に対して家計支援を行い、また福祉課では、就労支援を希望した4人へ支援を行い2人を就労させ、住居確保給付金の利用を希望した1人に対して、3か月分の家賃補助を行った。		
課題・問題点等(C)	・新規相談件数は昨年度から若干増加した。相談内容は家計や就労等以外のものもあり、今後も自立相談支援センターやその他の機関と連携し支援に当たる必要がある。		
今後の方向性(A)	・引き続き、自立相談支援センターやその他の機関と連携し、相談者への適切な支援に努める。		